

JSUGテクニカル部会

ワーキンググループメンバー募集のお知らせ



SOA
Solution Manager
JAVA Stack

ユーザー × パートナー × ベンダー (SAP) による『コミュニティ活動』

- メンバーが自分の悩みを率直に相談し合い、時として解決まで導ける場であること
- 自らのスキルアップが図れる場であること
- 参加者の方々が、部会で集まるのが楽しみになるような場であること
- 「会社」対「会社」ではなく、「個」対「個」の信頼関係を基礎とした関係であること

ユーザー同士の情報交流には一番の**気付き**があります

他社で同じことをしている人と**話**をしてみたかったです

共に研鑽する **仲間** が欲しかったです

3つのワーキンググループを新設します



■ SOA WG(旧SOA研究会)

- リーダー 増淵 澄様 (テクニカル部会 研究・開発者分科会リーダー 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社)
- 参加対象者
 - SOAを理解し、SOAプロジェクトの企画推進を予定されている方。
 - SOA導入検討が'09年の課題になっている方、あるいは、導入検討したいと思っている方。

■ Solution Manager研究会(テクニカル部会のWGからJSUG全体の研究会へと変更)

- リーダー 松井 憲司様 (テクニカル部会長 株式会社NTTデータウェブ)
- 参加対象者
 - Solution Managerを導入されている方、有効活用を検討されている方

■ JAVAスタック研究WG

- リーダー 石原 美彦様 (テクニカル部会オピニオンリーダー ベニックスソリューション株式会社)
- 参加対象者
 - JAVAスタック上にWebアプリケーションを構築しようとしている方
 - JAVAスタックの運用で困られている方、そもそもJAVAスタックとは?とお悩みの方

■ ワーキンググループ(WG)とはどんな活動をするのですか？

1. 部会の配下で自主的に活動するグループを分科会/ワーキンググループと呼んでいます。(部会>分科会>ワーキンググループ)
2. 部会の中で、ある特定のテーマについて関心のある会員が自主的に集まって勉強/研究活動を行いたい際にワーキンググループを設立します。
3. 基本的な活動スタイルは、「固定メンバーで定期的かつインタラクティブな勉強会の実施」です。
4. ワーキンググループへの参加資格は各部会によってルールが異なります。

■ 研究会とはどんな活動をするのですか？

1. JSUGでは、各種アンケートプログラムより会員の共通課題を洗い出し、年間の活動テーマを決定しています。
2009年度は『SAP Enterprise Support』を利活用するとの観点で以下の3つの研究会が発足します。
「Solution Manager研究会」「リスク管理研究会」「カスタマーメッセージ活用研究会」
2. 研究会はJSUG常任理事会が主催し、JSUG主催のイベント等で成果発表します。
3. Solution Manager研究会は、テクニカル部会で先行して計画していたSolution Manager研究WGが母体となり活動します。

■ メンバーを募集するWG

■ SOA WG, JAVAスタック研究WG

(Solution Manager研究会のメンバー募集は5月頃にあらためて行う予定です。)

■ 応募資格

- JSUGNET IDを持っている方であれば誰でもOKです。

■ 募集人数

- いずれのWGともに10名程度です。
- 応募者が多い場合は先着順で受け付けます。

■ WG開催日、開催場所

- 既に決定している日程は次ページ以降のWG紹介ページに記載しています。
- WGは原則、SAPジャパン本社東京サンケイビル会議室で開催します。

■ 応募方法

- JSUGNETよりご応募ください。

応募はこちらより <https://jsug.smartseminar.jp/public/seminar/view/328>

■ 応募締め切り

- 4月末まで

ERP6.0もBusinessSuite7と進化を遂げ、その基盤技術として全面的にSOA技術が採用され、SOAの技術理解が益々必要になってきている。先般実施した360度調査(JSUGによるアンケートプログラム)では、SAPユーザ企業皆様の課題として、SOAを十分に使いこなすためのメカニズム理解、SOA成功事例の研究、及びSOA導入プロジェクトのベストプラクティスの理解が必要と認識した。



1. 2009年終了時点でのゴールイメージ(案):SOAの基礎の基礎」から勉強を開始し、年末にはJSUGらしいSOA文書を成果物として会員各位に提供したい」
2. SOAのメカニズム理解(基礎編) :SOAのメカニズムを解説・導入技術の解説。
3. SOAの導入効果・テーマ(応用編) :SOAの適用目的の整理。(例:大きく分類すると、次の4つに集約されると仮説して、事例研究する。
 - ①UIの高度化
 - ②プロセス連携
 - ③情報分析力向上
 - ④変化対応力
4. 2009年は、まず基礎編として ①UIの高度化 と ②プロセス連携 二つのテーマに重点をおき、事例の研究を通して、「SOA導入パターン」を整理する。
5. SOA研究会 2009年のゴール成果物
 - ①SOAに関する基礎的な技術解説書
 - ②ビジネスやITの課題・目的から、「SOA導入パターン」を導き出す方法整理。
SOAプロジェクトの予算化上申に向けた「勘所」を解説。

[研究会の実施スタイル]

月1回、3時間の勉強会を1年継続。年末には、上記ゴールのための成果物をまとめる。
1～2回目は講義形式で基礎の習得。3～7回目は事例と導入パターンの研究。

[現在の開催案]

第1回 3月24日 1500-1730

1. 自己紹介、2009年度活動方針
2. 日本発条様内部でのWebService/SOAの一般的な理解のため資料
3. 日本発条様で開発した、SOAベースの出張経費精算システム説明

第2回 4月21日 1400-1730

1. SOAで効果出る事例の分類カテゴリ>事例研究の方向性を議論。
2. 日本、海外の優秀事例のご提供
3. SAPのSOAに必要な環境と、技術スキルセット>優秀事例のバックにある技術領域の説明
4. SAPのNetWeaver内部の各Stackの技術的役割の入門編の説明:カリキュラム全体説明

第3回 5月27日 1400-1730

1. 日本、海外の優秀事例のご提供
2. SAPのNetWeaver内部の各Stackの技術的役割の入門編の説明

第4回 6月26日 1400-1730

1. 日本、海外の優秀事例のご提供
2. NetWeaverベースでSOAプロジェクトを進める場合の手法
3. SAPのNetWeaver内部の各Stackの技術的役割の入門編の説明

第5回 7月22日 1400-1730

1. 日本発条様 2009年2-4月に予定されているSAP-SOAのPOC事例の結果発表
2. SAPのNetWeaver内部の各Stackの技術的役割の入門編の説明

第6回 9月18日 1400-1730 * 10月のJSUGコンファレンス(仮)、12月のTechWorld(仮)に向けて準備にする。

1. Tutorial、公開技術資料のまとめ、SolManとの関連
2. 日本での優秀事例発表、2008TechWorldValero事例のフォローアップ

[講師・資料提供]

SOAの初歩:JSUG(増淵・小林)、SAPジャパン 古澤さん、織田さん

日本事例 : 先進ユーザ事例発表を依頼

海外事例 : Sapphire 優秀事例を収集・分析

いよいよ開始された、「SAP Enterprise Support」。このサポートサービスの効果を十分に享受するには、Solution Managerを整備して、いかに有効活用するかがポイントとも言われている。また、Solution Managerを有効活用すればさまざまなメリットがありそうに“思われる”。

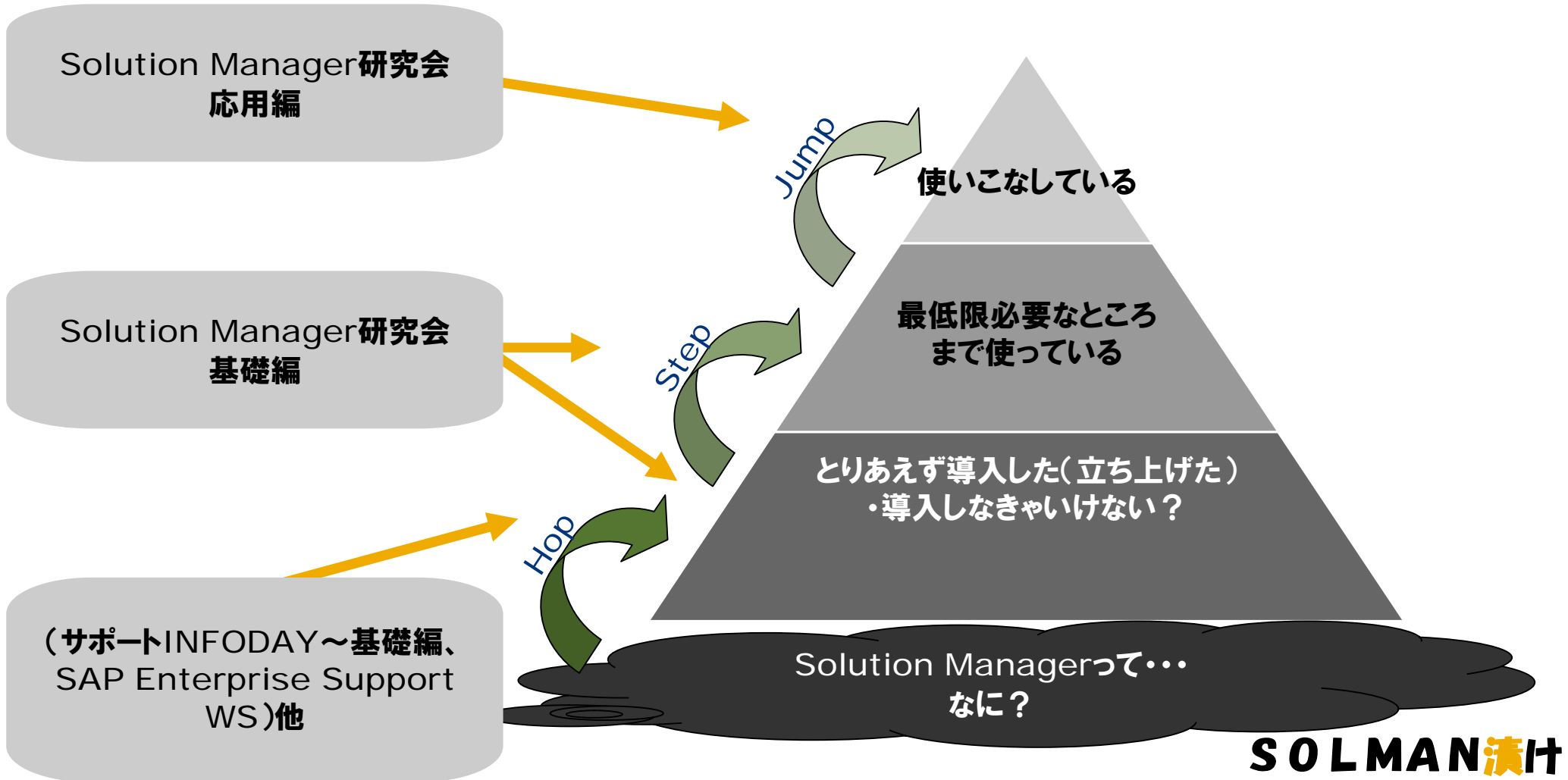
しかし、Solution Managerはビジネス的な成果を直接的に説明しにくい故、検討予算などがつきにくいなどなどのジレンマがあると思われる。

そこで…。SAPシステムの運用管理者の皆さんが避けて通りがたく、そして本年度(そしてこれからも)最も大きな課題の一つとなるSolution Managerについて、JSUGで賢く情報共有して活用を進めて行きませんか？



1. **基礎編**
必要最低限の整備(SAP Enterprise Support における Solution Managerの前提条件)「手順」についてのディスカッション・情報共有。
2. **応用編:**
Solution Managerを有効活用することにより得られる、「成果」についてのディスカッション・情報共有

活動の位置づけイメージは以下のとおり。



[研究会の実施スタイル]

- Solution Managerに関してSAPさんから発信される各種情報などの整理。
- メールリストやディスカッションを通じ、Solution Manager導入にあたり直面した課題・解決策を共有。解決されない問題については、SAPさんに質問して回答を頂く。
- 上記成果物は、FAQなどとして公開する。

[現在の開催(案)] ※上半期中心の活動を想定

3月	活動計画の共有/導入状況アンケート(1)	打合せ/メールリスト
4月	設定に関する課題収集(QA)/状況共有	メールリスト/オピニオンリーダー会
5月	設定に関する課題収集(QA)/導入状況アンケート(2)	メールリスト
6月	活動成果まとめ/報告	テクニカルフォーラム

[募集メンバー]

- このネタは、関連のある方が多い(システム管理者の大多数)と思われるため、テクニカル部会のメールリストを活用していく。

[講師・協力]

全体監修: SAPジャパン 小野さん

Solution Manager設定に関する課題解決支援: SAPジャパン 山口さん

[研究会の実施スタイル]

- Solution Managerの最新情報の整理、導入事例の整理。ワークショップ形式
- 導入効果が高いと思われる機能について、深掘りして研究(ARIS連携、文書化)
- 場合によっては実機検証などを実施
- 活動成果については、テクニカルフォーラムで発表(12月)

[現在の開催(案)] ※年間を通した活動を想定

第1回	活動計画の共有	打合せ
第2回	(深掘り機能)の理解	講義形式
第3回	(深掘り機能)検証シナリオ検討	ディスカッション
第4回	(深掘り機能)確認	実機設定・検証
第5回	(深掘り機能)確認	実機設定・検証
第6回	TECHED調査課整理	ディスカッション
	TECHEDでの最新情報収集	TECHEDでの最新情報収集
第7回	テクニカルフォーラムの準備	打合せ

※基礎編を進めながら応用編の開催時期を検討いたします。

[講師・協力]

全体監修:SAPジャパン 小野さん

SAPシステムで提供されるJAVAスタックは、次々と新しい要素技術が追加されている状態(進化している途上である)であり、システム管理方法が確立されていない状況である。一方、SAPシステムは基幹系システムとして稼動することが多く、安定稼動が要求されるシステムである。

これらのことより、SAPのJAVAスタックの機能を正しく理解し、システムを安定稼動させるための管理方法を確立する必要がある。また、2008年12月に実施されたJSUGテクニカルフォーラムでの「NetweaverのJavaスタックを管理するためには」では関係者の関心が高いことも確認でき、JSUGのWGとして活動を行い、同じ課題を持っているメンバーで検討を行っていききたい。



1. **活動計画の共有:**
数多くあるシステム管理項目の内、システムの安定稼動という面より各項目のプライオリティ(A~Cランク程度?)を検討し、本WGで取り扱う議題およびマイルストーンについてWG参加メンバーで協議し、WG内で共有を行う。
2. **成果物の共有:**
本WGの成果物はJSUGメンバーで共有する。

(つづき)

3. **JAVAスタック管理の基本の「き」:**
ABAPに比べてJAVAスタックに関するシステム管理の基礎知識は不足していると考えられる。そこで、本WGを進めるために必要な基礎知識を学ぶ。これにより、WGの円滑な運営を実現するためのWGメンバーの知識レベルの均等化を実現する。
(目標)
 - ・少なくともJAVAスタック用語の意味を正しく理解できるようになる
 - ・SAPの製品でJAVAスタックが必要なアプリケーションは？
 - ・普通のJ2EEとSAPのJAVAスタックの違いを理解できるようにする(方法例)
 - ・システム管理(ADM200やADM325等)のエッセンスを説明いただく

4. **ケーススタディの実施:**
JAVAスタックでプライオリティが高いシステム管理項目に対するケーススタディを行い実体験し、システム管理のモデル化したものを成果物とする。
例えば変更管理をケーススタディした場合、
 - ・JAVAスタック上でWebシステムを開発する場合の流れ(プロセス)を整理する
 - ・NWDIを利用した場合としない場合の違いは？
 - ・架空システムに対する設計(ソフトウェア構成や命名規則、変更物のリリース単位など)
 - ・上記で設計した内容の実装を実施する。

(つづき)

5. **テクニカルフォーラムの準備:**
テクニカルフォーラムで以下の内容が発表できるように準備を行う。
 - ・本WGの活動内容の紹介
 - ・皆さんが興味があると考えられるトピックについての紹介
(2008年に実施したものの「パフォーマンスチューニング編」や「ユーザ管理編」とかがいいか?)

6. **2009年の目標:**
まずは、JAVAスタック管理の基礎を固め、少なくとも1項目のケーススタディは行い、JSUGメンバーでの成果物共有を行う。
⇒2010年以降にもつながるような活動を開始したい

[WGの実施スタイル]

SAP(東京)にて月1回、4時間(13時~17時)のWGを1年継続。
各回の開催内容(案)については以下の通り。

[現在の開催(案)]

第1回	4月22日	活動計画の共有	打合せ
第2回	5月27日	JAVAスタックの基礎①	講義形式
第3回	6月24日	JAVAスタックの基礎②	講義形式
第4回	7月29日	変更管理のモデル作成①	ケーススタディ
第5回	8月26日	変更管理のモデル作成②	ケーススタディ
第6回	9月30日	変更管理のモデル作成③	ケーススタディ
第7回	11月25日	テクニカルフォーラムの準備	打合せ

[募集メンバー]

10名以上を募りたい。(ただし、最初はスモールスタートとなるのは仕方ないか?)
JAVAスタックの運用を行っている方、あるいは導入を検討されている方。

[講師・協力]

JAVAスタックの基礎: SAP-J(エデュケーション部門に協力要請中)
変更管理のモデル作成: SAP-J(フィールドサービス部門に協力要請中、パートナー企業様の協力大歓迎)



本件に関するご質問は下記のJSUG事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。
皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

JSUG事務局

E-mail: info@jsug.org

TEL :03-5775-0090

FAX :03-5775-0201

(事務局運営時間:平日 10:00-18:00)
